

AVの基本操作

ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。

1 【MENU】を押して【ソース切替】をタッチする

2 切り替えたいソースをタッチする

【交通情報】：

交通情報放送を受信します。(→ P.111)

【STANDBY】：

ソースをすべてオフにします。ソースをオンにするには、ソース切替画面でソースを選択します。

【iPod】^[1]：

iPodの曲を再生します。(→ P.81)

【USB】^[2]：

USB機器のオーディオ/ビデオファイルを再生します。(→ P.82)

【SD】：

SDカードのオーディオ/ビデオファイルを再生します。(→ P.82)

【内蔵メモリ】：

本機の内蔵メモリに録音したデータを再生します。(→ P.89)

【マルチ AV ブラウザ】：

マルチ AV ブラウザソースは、USB機器、SDカード、内蔵メモリにあるそれぞれの曲またはビデオをまとめて表示し、カテゴリから選択して再生することができます。(→ P.95)

【DISC】：

CDやDVD、オーディオファイルを保存したCD-Rなどのディスクを再生します。(→ P.97、P.101)

【地デジ】：

地上デジタルTV放送を受信します。(→ P.105)

【FM】：

FMラジオ放送を受信します。(→ P.109)

【AM】：

AMラジオ放送を受信します。(→ P.109)

【Bluetooth AUDIO】：

本機に接続したBluetooth対応オーディオプレーヤーを再生します。(→ P.149)

【HDMI】^[3]：

本機にHDMI接続した機器のソースに切り替えます。(→ P.111)

【SMART USEN】：

カーナビ連携アプリケーション「SMART USEN」をインストールしたスマートフォンを接続すると本機でチャンネル選択などの操作をすることができます。(→ P.152)

^[1] iPodをUSB接続する場合はApple製Lightning - USBケーブルが必要です。

^[2] USB接続ケーブル KNA22USBG(別売品)が必要です。

^[3] HDMI接続ケーブル KNA20HCG(別売品)が必要です。



- DISCソース以外は機器を接続したり、SDカードを挿入してもソースは自動で切り替わりません。

■ AV画面からソース切替画面を表示する

AV画面左上のソース名をタッチするとソース切替画面を表示します。



現在地図画面からAV画面を表示する

1 【現在地 / AV】を押す

「K2テクノロジー」を使う

各ソースのAV画面に「K2テクノロジー」をオン/オフする [K2] ボタンがあります。チェックを付けると、変質・劣化したデジタル音源をオリジナルマスターと同等に復元再生します。アナログソースにおいても「K2テクノロジー」の [K2] がタッチできるようになっています。より高音質にお楽しみいただけるよう、本機ではすべてのソースで高解像度なデジタル処理をしています。「K2テクノロジー」をオンにすることにより、本来の音に復元することが可能となります。



- 「K2テクノロジー」は、株式会社JVCケンウッドと株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメントが共同開発した、音源のデジタル化における高音質化情報処理技術です。時間軸上で変化する波形情報の解析技術などのオリジナルテクノロジーで、音楽制作のプロフェッショナルであるビクタースタジオのエンジニア達の音質評価をクリアし、限りなくオリジナルマスター音源の忠実な再生を目指した技術です。

パッセンジャースリープ機能を使う

助手席や後部座席の搭乗者が眠っているときに使用します。運転席以外の席では搭乗者がうるさく感じない音質にし、運転席では音像バランスを維持できる音になります。

- パッセンジャースリープ機能を使用するには、運転席の位置を設定する必要があります。設定については、39 ページをご覧ください。
- 各ソースのAV画面に「Pスリープ」をオン/オフするボタンがあります。チェックを付けると、パッセンジャースリープ機能がオンになります。



- パッセンジャースリープ機能がオン中は、サウンド設定を変更できません。(→ P.127)

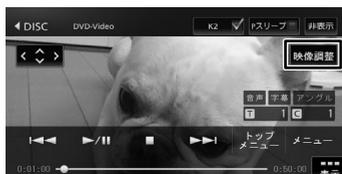
画質を調整する

画面に表示する映像の画質を調整します。

1 調整する映像ソース画面を表示する

2 「映像調整」をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。



3 [-] または [+] をタッチして各項目を調整する



コントラスト：

コントラストを調整します。

- [+]：コントラストが強くなります。
- [-]：コントラストが弱くなります。

ブライトネス：

明るさを調整します。

- [+]：明るくなります。
- [-]：暗くなります。

色の濃さ：

色の濃淡を調整します。

- [+]：色が濃くなります。
- [-]：色が淡くなります。

色合い (カメラ映像 / ドライブレコーダー映像のみ)：

色合いを [+] / [-] で調整します。



- 地図画面の画質は調整できません。
- [非表示] をタッチすると、操作ボタンを消すことができます。
- カメラ映像の画質を調整しているときに [戻る] をタッチすると、カメラの操作画面に戻ります。

映像の画面表示サイズを変更する

画面に表示する映像のサイズを変更します。



- カメラ映像、地デジの映像およびドライブレコーダーの映像は、画面表示サイズの変更はできません。

1 サイズを変更する映像ソース画面を表示する

2 【映像調整】をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。



3 「アスペクト」の ◀ または ▶ をタッチして、サイズを調整する



レギュラー：

4:3の比率で表示します。

フル：

画面いっぱいに表示します。

オリジナル：

映像の比率はそのままに、画面の縦か横いっばいに表示します。

オート：

16:9の映像はフルで、4:3の映像はレギュラーで表示します。

■ 映像サイズイメージ

	16:9 画像	4:3 画像	その他	
レギュラー				
フル				
オリジナル				
オート	4:3 画像はレギュラーに、16:9 画像はフルに自動的に切り替えます。			



- オリジナルはSD、USB、マルチ AV ブラウザソースのみ設定できます。
- オートは DVD 再生時のみです。

iPod の曲を再生する

- iPod ソース中にコントロールできるのは音楽再生のみです。ビデオの再生コントロールはできません。
- iPod ソースで iPod を再生するときの接続方法は、USB 接続または Bluetooth 接続です。USB 接続の場合は、USB 接続ケーブル KNA22USBG（別売品）と Apple 製 Lightning - USB ケーブルで接続します。Bluetooth 接続の場合は iPod の登録を行ってください。（→ P.140）



- iPod 接続ケーブルを接続する USB 接続ケーブルは、本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。
- Lightning - USB ケーブルは車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因となります。

iPod を取り外す

ソースを iPod 以外に切り替えてから、iPod を取り外します。
iPod ソースのまま取り外すと、iPod 内のデータが破損する場合があります。

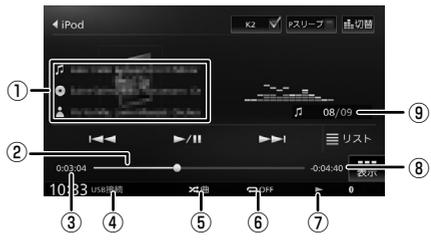
画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを iPod に切り替える（→ P.78）



- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されませんが、曲名は表示されますが、スクロールはできません。



- ① 曲名
- ② アルバム名
- ③ アーティスト名
- ④ アルバムアート画像
- ⑤ アルバムアート画像の情報がある場合は、アルバムアートが表示されます。
- ⑥ シークバー
- ⑦ 再生時間
- ⑧ 接続方法
- ⑨ ランダム再生モード
- ⑩ リピート再生モード
- ⑪ 再生状態
- ⑫ 再生残り時間
- ⑬ 曲番号 / 全曲数

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2 テクノロジー機能がオンになります。（→ P.79）
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッシブジャースリープ機能がオンになります。（→ P.79）
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[▶/]	再生または一時停止（ポーズ）します。
[◀◀ / ▶▶]	前または次の曲を再生します（スキップ）。タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[リスト]	再生リストを表示します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オプション

付録

サブ機能

「表示」をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の「閉じる」でも消すことができます。

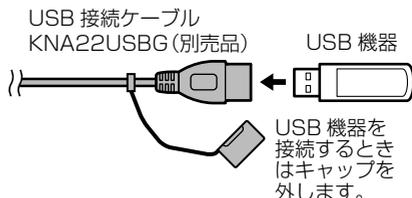
● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替] (Bluetooth 接続時のみ)	Bluetooth 接続のときは、Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
[X]	タッチするたびにシャッフル再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ X OFF : シャッフル再生モードを解除します。 ・ X 曲 : リスト内の曲をシャッフル再生します。
[R]	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ R OFF : リピート再生モードを解除します。 ・ R ALL : リスト内のすべての曲をくり返し再生します。 ・ R 1 : 再生中の曲をくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

USB 機器 / SD カードのファイルを再生する

USB 機器を接続する

USB 機器の接続には、USB 接続ケーブル KNA22USBG (別売品) が必要です。



- 本機で再生できる USB 機器は 222 ページをご覧ください。「USB 機器使用上のご注意」もお読みください。
- 本機では USB 接続ケーブルに USB ハブを接続して複数の USB 機器を接続することができます。USB ハブをご使用になる場合は 222 ページの「USB ハブの使用について」を必ずお読みください。
- 複数の USB 機器を接続した場合は、USB の AV 画面で再生する USB 機器を切り替えることができます。(→ P.84、P.85)



- ・ USB 接続ケーブルは本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。

USB 機器を取り外す

ソースを USB 以外に切り替えてから、USB 機器を取り外します。

USB ソースのまま取り外すと、USB 機器内のデータが破損する場合があります。

SD カードを入れる / 出す

本機で再生できる SD カードは「本機で再生できる SD カード」(→ P.221) をご覧ください。「SD カード使用上のご注意」もお読みください。

1 【△】(オープンキー) を押す

2 [SD] をタッチする

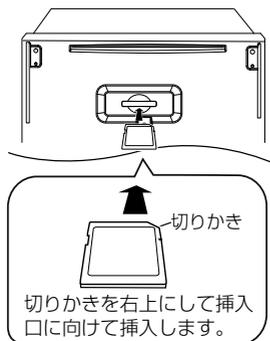


フロントパネルが開きます。

3 SD カードを挿入口に入れる、または出す

入れるときは、SD カードが奥に突き当たるまで差し込んでください。

出すときは SD カードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。



4 音量以外のキーを押してパネルを閉じる



- フルオープン状態で SD カードを挿入しても、フロントパネルは自動的に閉じません。
- フロントパネルを開いたまま走行しないでください。フロントパネルを開いたまま走行すると、衝突時にけがをする原因となります。安全のためフロントパネルを閉じてください。

画面の見かたと操作

USB 機器または SD カードに保存されているオーディオファイル / ビデオファイルを再生します。



- リピート再生モードとランダム再生モードは、同時に設定できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されませんが、スクロールはできません。

ここまでの手順 ▶

ソースを USB または SD に切り替える (→ P.78)

オーディオファイルの AV 画面

USB 画面例



- 曲名 (ファイル名)
- アルバム名 (フォルダ名)
- アーティスト名
- アルバムアート画像
- 再生時間
- 音声形式
- シークバー
- ランダム再生モード
- リピート再生モード
- 再生状態
- 再生残り時間
- ファイル番号

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(→ P.79)
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(→ P.79)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[▶/]	再生または一時停止(ポーズ)します。
[◀◀] / [▶▶]	前または次のファイルを再生します(スキップ)。タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。
[◀] / [▶]	前または次のフォルダの先頭ファイルから再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。 ・再生リストについては86ページの「再生リストと再生モードについて」をご覧ください。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

[表示] をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

USB 画面例



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替] (USBのみ)	複数のUSB機器を接続しているときに、再生するUSB機器を切り替えます。
[カテゴリDB更新]	カテゴリデータベースを作成、更新します。(→ P.86)
[X]	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 ・X OFF: ランダム再生モードを解除します。 ・X フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ): 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。 ・X 曲 (カテゴリデータベース再生のみ): 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
[R]	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・R ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 ・R 1: 再生中のファイルをくり返し再生します。 ・R フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ): 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

ビデオファイルの AV 画面

画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。

USB 画面例



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の「非表示」でも消すことができます。

- ① フォルダ名
ファイル名
- ② 再生時間
- ③ 映像形式 / 音声形式
- ④ シークバー
- ⑤ ランダム再生モード
- ⑥ リピート再生モード
- ⑦ 再生状態
- ⑧ 再生残り時間

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(→ P.79)
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(→ P.79)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.79)
[▶/⏸]	再生または一時停止(ポーズ)します。
[◀◀] / [▶▶]	前または次のファイルを再生します(スキップ)。タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。
[📁] / [➕]	前または次のフォルダの先頭ファイルから再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。 ・再生リストについては86ページの「再生リストと再生モードについて」をご覧ください。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

[表示] をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

USB 画面例



● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替] (USBのみ)	複数のUSB機器を接続しているときに、再生するUSB機器を切り替えます。
[カテゴリDB更新]	カテゴリーデータベースを作成、更新します。(→ P.86)
[X]	<ul style="list-style-type: none"> ・ X OFF: ランダム再生モードを解除します。 ・ X フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ): 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。 ・ X 曲 (カテゴリーデータベース再生のみ): 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
[🔄]	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 🔄 ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 ・ 🔄 1: 再生中のファイルをくり返し再生します。 ・ 🔄 フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ): 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

再生リストと再生モードについて

USB ソースおよび SD ソースの再生には以下の再生モードがあります。再生リストを表示して、モードのリストを切り替えるボタンをタッチするたびにリストが切り替わります。ただし該当するデータがない場合は切り替わりません。

1 [リスト] をタッチする



2 再生モードを切り替えるボタンをタッチする



再生モードを切り替えるボタン

● 再生モード

再生リスト	再生モード
フォルダリスト	パソコンで保存したファイルをそのままの状態再生します。
カテゴリリスト	本機でカテゴリデータベースを作成した USB 機器または SD カードをカテゴリから選んで再生します。
録音データ (SD のみ)	本機で SD カードに録音したデータを再生します。



- カテゴリデータベースモードで再生するには、データベースを作成する必要があります。(→ P.86)
- SD カード、内蔵メモリに録音された録音データのカテゴリデータベースは自動で作成、更新されます。

カテゴリデータベースから曲またはビデオを再生する

リストから曲またはビデオを再生するとき、アルバム、アーティストなどタグ情報をもとにカテゴリから曲またはビデオを再生できます。

カテゴリデータベースを作成する



- カテゴリデータベースの作成、更新は、USB 機器、SD カードに入っているファイルの数によっては時間がかかる場合があります。
- カテゴリデータベース作成、更新中は他の操作はできません。
- カテゴリデータベースを更新すると、USB 機器または SD カードに _ContentsDB フォルダが作成されます。_ContentsDB フォルダ内にあるデータをパソコンなどで変更または削除しないでください。正しくファイルが再生できなくなります。
- カテゴリデータベースは最大 15000 曲登録することができます。

1 [表示] をタッチする



2 [カテゴリ DB 更新] をタッチする



メッセージが表示されます。

3 [はい] をタッチする

カテゴリデータベースが作成されます。

カテゴリリストモードで再生する

1 [リスト] をタッチする



2 フォルダリスト画面の [カテゴリリスト] をタッチする



3 [📺] (ビデオリスト) または [🎵] (ミュージックリスト) を選ぶ



4 再生するファイルを選ぶ

▶ Play :

該当するリストの先頭ファイルから再生されます。

[トップ] (ミュージックリストのみ) :

一番上の階層のリストに移動します。

[一つ上] (ミュージックリストのみ) :

1つ上の階層のリストに移動します。

内蔵メモリ/SD カードに録音する

録音について

- ・本機では、再生中の音楽 CD を内蔵メモリまたは SD カードに録音できます。
- ・録音中は、地デジ、マルチ AV ブラウザ、録音先のソースは選択することができません。
- ・録音中にナビの画面に切り替えても、録音は継続されます。
- ・録音中は、画面右下に **REC** と表示されます。



- ・録音中に本機の電源をオフにしたり、録音を中断しても、それまでに録音を完了しているデータは保存されています。
- ・本機は SCMS (シリアルコピーマネージメントシステム) に対応しており、デジタル録音された複製ディスク内の曲を内蔵メモリまたは SD カードに録音することはできません。
- ・内蔵メモリまたは SD カードがいっぱいで録音できない場合はメッセージが表示されます。不要なデータを削除してから録音してください。(→ P.92)
- ・録音する音楽 CD のアルバム情報がないときには、次のように名前が付けられます。
 - タイトル名 :
"Track" _ トラック番号 _ 年 _ 月 _ 日 _ 時刻
 - アルバム名 : "Album" _ 年 _ 月 _ 日 _ 時刻
 - アーティスト名 : "Artist" _ 年 _ 月 _ 日 _ 時刻なお、年、月、日、時刻は、その音楽 CD が初めて録音されたときの開始時のものです。
- ・楽曲情報は本機で編集することができます。(→ P.90)
- ・録音中は、「録音先」、「録音音質」は設定できません。
- ・本機で再生できる SD カードについては、221 ページをご覧ください。

■ 録音可能曲数について

録音可能曲数は、録音音質によって異なります。

以下は、録音可能曲数の目安です。

- 内蔵メモリ：
 - 標準音質 … 約 1000 曲
 - 高音質 … 約 500 曲
 - ロスレス … 約 150 曲
- SD カード (8GB の場合)：
 - 標準音質 … 約 2000 曲
 - 高音質 … 約 1000 曲
 - ロスレス … 約 300 曲

■ 録音可能アルバム数について

内蔵メモリ、SD カードそれぞれ 999 枚録音できます。

録音設定をする

音楽 CD から録音するときの録音音質および録音先を設定します。

- 1 音楽 CD の AV 画面を表示して、サブ機能ボタンの **【録音設定】** をタッチする



- 2 設定したい項目をタッチする

■ 録音先

【内蔵メモリ】：内蔵メモリに録音します。

【SD カード】：SD カードに録音します。

■ 録音音質

【標準 (128kbps)】：標準の音質で録音します。

【高音質 (256kbps)】：高音質で録音します。

【ロスレス】：最高音質で録音します。

録音する

音楽 CD を再生しながら、内蔵メモリまたは SD カードに最大約 4 倍速で録音できます。



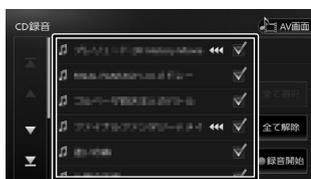
- エンジン切るまたは、スタートさせたいときは、録音を中止してください。
- 録音先を SD カードに設定している場合、SD カードが本機に挿入されていないと録音できません。

- 1 ソースを DISC に切り替えて、録音したい音楽 CD を再生する
- 2 **【録音】** をタッチする



- 3 録音する曲を選択する

- : 録音していない曲
- : 録音済みの曲



表示されているリストでは、すべての曲が選択されています。録音しない曲をタッチすると、選択が解除されます。

【全て選択】：

すべての曲を選択します。

【全て解除】：

すべての曲の選択を解除します。

- 4 **【録音開始】** をタッチする

確認メッセージが表示されます。

5 【はい】をタッチする

録音が始まります。

録音中の画面では、録音の状況を確認できません。また、録音済 / 録音予定の曲数が表示されます。

00/03 : SD カードに録音中です。

100/03 : 内蔵メモリに録音中です。

【録音停止】 :

録音を停止して、ディスクの1曲目から再生します。

すべての録音が終了すると、[録音モード終了]が表示されます。[録音モード終了]をタッチして【はい】をタッチすると、ディスクの1曲目から再生されます。



- 手順3で、すでに録音されている曲を選択すると、メッセージが表示され、録音データが上書きされます。
- 録音中に [リスト] をタッチすると、録音状況が次のアイコンで表示されません。
 - 録音済みの曲
 - 録音中の曲 (赤)
 - 録音予定の曲 (エンジ)
 - 録音予定がない曲 (黒)
 - エラーが発生して録音されなかった曲
- 録音中はシークバーを操作できません。
- SDカードに録音できない場合は、SDカード初期化を行ってください。(→ P.134)

録音したデータを再生する

ソース切替画面で内蔵メモリまたはSDを選択しします。

ここまでの手順 ▶

ソースを内蔵メモリまたはSDに切り替える (→ P.78)

SDカードの録音データを再生する場合は、再生モードを「録音データ」にしてください。(→ P.86)

内蔵メモリ画面例



- 曲名
- アルバム名
- アーティスト名
- ジャンルの画像またはアルバムアート画像
- 再生時間
- シークバー
- ランダム再生モード
- リピート再生モード
- 再生状態
- 再生残り時間
- ファイル番号

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(→ P.79)
[Pスリーブ]	チェックを付けるとパッセンジャースリーブ機能がオンになります。(→ P.79)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[▶/]	再生または一時停止 (ポーズ) します。
[◀◀] / [▶▶]	前または次のファイルを再生します (スキップ)。タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。

ボタン	説明
[リスト]	再生リストを表示します。 ・再生リストについては86ページの「再生リストと再生モードについて」をご覧ください。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

[表示] をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

内蔵メモリ画面例



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の「閉じる」でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[タイトル編集]	録音データのタイトルを編集します。
[録音データ削除]	録音データを削除します。
[カテゴリDB更新] (SDのみ)	カテゴリデータベースを作成、更新します。(→ P.86)
[録音データ移動] (内蔵メモリのみ)	内蔵メモリに録音したデータをSDカードに移動します。
[X]	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 ・ X OFF : ランダム再生モードを解除します。 ・ X 曲 : 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
[R]	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・ R ALL : 再生中のリスト内のファイルをくり返し再生します。 ・ R 1 : 再生中のファイルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。



- ・ジャンルの画像、アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- ・アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- ・音楽CDを録音すると、自動的にカテゴリーデータベースが作成されます。(→ P.86)
カテゴリーデータベースが作成されているファイルは、アルバムやアーティストなどのタグ情報をもとに再生するファイルを選択できます。(→ P.87)

録音データのタイトルを編集する

本機の内蔵メモリまたはSDカードに録音したデータのタイトル(曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル、アルバムアートワーク)を編集することができます。

ここまでの手順 ▶

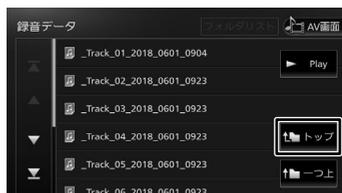
ソースを内蔵メモリまたはSDに切り替える(→ P.78)

SDカードの録音データを編集する場合は、SDカードの再生モードを録音データの再生に切り替えておいてください。(→ P.86)

1 [リスト] をタッチする



2 [トップ] をタッチする



3 アルバムをタッチして編集したい曲が含まれるアルバムを再生する



4 [表示] をタッチする

5 [タイトル編集] をタッチする

6 編集したい曲をタッチする

7 編集したい項目をタッチする

曲名：

文字入力画面が表示されます。

アルバム名：

文字入力画面が表示されます。
変更したアルバム名は同一アルバム内のすべての曲に反映されます。

アーティスト名：

文字入力画面が表示されます。
編集すると確認メッセージが表示されます。

【はい】：

編集したアーティスト名は同一アルバム内のすべての曲に反映されます。

【いいえ】：

編集している曲のみに反映されます。

ジャンル：

リストから選択します。
選択すると確認メッセージが表示されます。

【はい】：

選択したジャンルは同一アルバム内のすべての曲に反映されます。

【いいえ】：

編集している曲のみに反映されます。

アルバムアートワーク：

録音データにお好みの画像をアートワークとして表示させることができます。



- 入力可能最大文字数は、曲名 / アルバム名 / アーティスト名とも 128 文字です。
- 文字入力については 28 ページをご覧ください。
- 手順 6 の画面で表示される [別候補タイトル] は、スマートフォンを Bluetooth テザリングで接続しているときに、Gracenote 音楽認識サービスで使われます。(→ P.94)

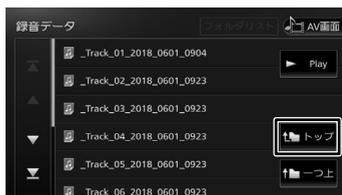
タイトルを消去する

編集したアルバム内のすべてのタイトル(曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル)を消去することができます。

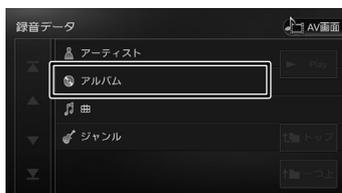
1 [リスト] をタッチする



2 [トップ] をタッチする



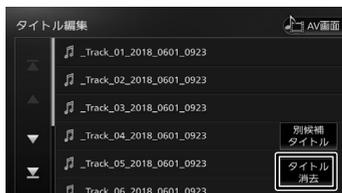
3 アルバムをタッチしてタイトルを消去したい曲が含まれるアルバムを再生する



4 [表示] をタッチする

5 [タイトル編集] をタッチする

6 [タイトル消去] をタッチする



確認メッセージが表示されます。

7 [はい] をタッチする

アルバムアートワークとして画像を表示させる

録音データを再生するときにアルバム単位で、SDカードまたはUSB機器に保存したお好みの画像ファイル（JPEGまたはPNGのデータサイズ650KB以下）をアートワークとして表示させることができます。

- 1 「録音データのタイトルを編集する」（→ P.90）の手順7の画面を表示して【アルバムアートワーク】をタッチする



- 2 【デバイス切替】をタッチして画像を保存しているデバイスを選択する



- 3 アートワークにしたい画像を選ぶ

録音データの再生画面でアルバムアートワークが表示されるようになります。

アートワークを削除する

- 1 「録音データのタイトルを編集する」（→ P.90）の手順7の画面を表示して【画像削除】をタッチする



確認メッセージが表示されます。

- 2 【はい】をタッチする



- Gracenote 音楽認識サービスを使用してアルバムアートワークを自動取得することもできます。（→ P.93）

録音データを削除する

本機の内蔵メモリまたはSDカードに録音したデータを削除します。

ここまでの手順

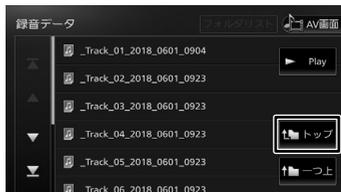
ソースを内蔵メモリまたはSDに切り替える（→ P.78）

SDカードの録音データを削除する場合は、事前にSDカードの再生モードを「録音データ」に切り替えておいてください。（→ P.86）

- 1 【リスト】をタッチする



- 2 【トップ】をタッチする



- 3 アルバムをタッチして削除したい曲が含まれるアルバムを再生する



- 4 【表示】をタッチする

- 5 【録音データ削除】をタッチする

6 削除するデータを選んでタッチする



[全て選択] :

すべての曲を選択します。

[全て解除] :

すべての曲の選択を解除します。

7 [削除] をタッチする

確認メッセージが表示されます。

8 [はい] をタッチする

録音データを SD カードに移動する

内蔵メモリに録音したデータを SD カードに移動します。

再生中の曲を含んだ 1 つのアルバムデータを移動します。移動したデータは、内蔵メモリから自動的に消去されます。

SD カード内に移動されたデータは、SD カードから再生できます。

ここまでの手順 ▶

ソースを内蔵メモリに切り替える (→ P.78)

1 SD カードに移動したい曲を再生する

2 [表示] をタッチする



3 [録音データ移動] をタッチする

メッセージが表示されます。

4 [はい] をタッチする

録音データの移動が始まります。

[中止] :

SD カードへの移動を中止します。



- SD カードに移動したデータは内蔵メモリに戻すことはできません。

楽曲情報を取得する

スマートフォンを Bluetooth テザリングで接続中は、Gracenote 音楽認識サービスにより、インターネットにある楽曲情報データベースにアクセスし、再生している音楽 CD や録音したファイルのタイトル情報とアルバムアートを表示することができます。また、取得したアルバムアートはマルチ AV ブラウザでも表示することができます。



- 取得した情報は、以下のアルバムタイトル数が本機に保存されます。
 - タイトル情報：約 100 タイトル
 - アルバムアート：約 400 タイトル制限数を超えた場合は、古い情報から削除されます。
- アルバムアートは、アルバムタイトルの画像が表示され、無い場合はアルバムアーティストの画像が表示されます。また、両方の画像が無い場合は、ジャンル別の画像が表示されます。
- 本機に保存されているタイトル情報とアルバムアートは、テザリング接続をしていないときでも表示されます。

Gracenote 音楽認識サービスを使うための準備

準備 1 : スマートフォンのテザリング契約

Gracenote 音楽認識サービスを使用するためには、スマートフォンのテザリング契約が必要です。(費用や契約については契約会社により異なります。)

また、通信費用は別途かかります。

準備 2 : 本機とスマートフォンを Bluetooth テザリング接続する

1 Bluetooth テザリングをするスマートフォンの Bluetooth とテザリング機能をオンにする

2 [MENU] を押して [情報・設定] ▶ [外部機器] をタッチする



- 3 [Bluetooth] (Bluetooth) をタッチして本機の Bluetooth 機能を [ON] にする
- 4 [Bluetooth テザリング] (その他) をタッチして [ON] にする
- 5 スマートフォン側で “KXMG710W” または “KXMG710” を選ぶ
- 6 デバイス名とパスキーを確認する



- 7 [Bluetooth テザリング] をタッチしてチェックを付けて [はい] をタッチする

スマートフォンがテザリング接続され、インターネットに接続しているときに音楽 CD を挿入すると、楽曲情報データベースから音楽 CD の情報が取得されて表示されます。



- この機能をご使用の場合には、スマートフォンの通信料金が発生します。パケット定額料金プランをおすすめします。
- 以下の場合は、94 ページの「楽曲情報を取得 / 変更する」をご覧ください。
 - 音楽 CD の楽曲情報が自動で取得できない場合
 - 自動で引き当てられた音楽 CD の楽曲情報を変更したい場合
 - 録音した曲の楽曲情報を取得する場合

楽曲情報を取得 / 変更する

- 1 ソースを切り替えて、AV 画面を表示する

■ 音楽 CD の楽曲情報を取得 / 変更する

ソースを「DISC」に切り替え、AV 画面を表示して楽曲情報を取得したい CD を再生します。

■ 録音した曲の楽曲情報を取得する

ソースを「SD」または「内蔵メモリ」に切り替え、AV 画面を表示して楽曲情報を取得したい曲を再生します。

- 2 [表示] をタッチしてサブ機能ボタンを表示する

内蔵メモリ画面例



- 3 [タイトル検索] (DISC の場合) または [タイトル編集] (SD / 内蔵メモリの場合) をタッチする

内蔵メモリ画面例



- 4 [別候補タイトル] をタッチする



[タイトル消去] :

現在の曲を含むアルバム内すべてのタイトルが消去されます。

5 [楽曲情報取得] をタッチする



6 取得したい楽曲情報をタッチする

アルバム内の取得した楽曲情報が入ったリストが表示されます。

マルチ AV ブラウザを使う

画面の見かたと操作

マルチ AV ブラウザソースは、USB 機器、SD カード、内蔵メモリにあるそれぞれの曲またはビデオを表示し、カテゴリーから選択して再生することができます。

USB 機器と SD カードの曲またはビデオを再生するにはカテゴリーデータベースを作成する必要があります。(→ P.86)



- カテゴリーデータベースを一度も作成していない USB 機器を接続または SD カードを挿入すると、「カテゴリーデータベースがありません。各ソース毎に作成してください。」と表示されます。

ここまでの手順 ▶

ソースをマルチ AV ブラウザに切り替える (→ P.78)



- ① 曲名
- ② アルバム名
- ③ アーティスト名
- ④ アルバムアート画像
- ⑤ 再生時間
- ⑥ 音声形式または映像形式
- ⑦ シークバー
- ⑧ ランダム再生モード
- ⑨ リピート再生モード
- ⑩ 再生状態
- ⑪ 再生残り時間
- ⑫ 曲番号 / 全曲数

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。 (→ P.79)
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。 (→ P.79)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[▶/⏸]	再生または一時停止(ポーズ)します。
[◀◀] / [▶▶]	前または次の曲を再生します(スキップ)。 タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。
[トップ]	再生中のリストのトップを表示します。
[リスト]	再生中のリストを表示します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

[表示] をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[X]	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> • X OFF: ランダム再生モードを解除します。 • X 曲: 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
[R]	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> • R ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 • R 1: 再生中のファイルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。



- アルバムアートの画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。

リストから曲またはビデオを再生する

1 [トップ] または [リスト] をタッチする



- ① ソース切替：
SD、USB、内蔵メモリそれぞれタッチする
たびに表示するかしないかを選択できます。
 - ② カテゴリー：
アーティスト / アルバム / 楽曲 / ジャンルから
選択できます。
 - ③ アルバムアート画像：
情報にアルバムアートがある場合に表示され
ます。
 - ④ 曲またはビデオファイル
 - ⑤ スクロールバー（表示のみ）
 - ⑥ ビデオリストに切り替える
 - ⑦ 曲リストに切り替える
- 2 [MUSIC] または [VIDEO] をタッチする
- 3 表示するソースを選択する
- 4 再生したいカテゴリーを選んで、ファイルを選ぶ

CD・オーディオファイル ディスクを再生する

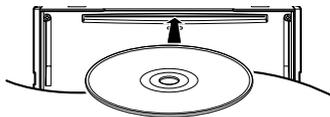
ディスクを入れる / 出す

ディスクを入れる

- 1 [△]（オープンキー）を押す
- 2 [DISC] をタッチする



- 3 ディスクを挿入口に入れる



フロントパネルが自動的に閉じます。
ソースが「DISC」に切り替わります。

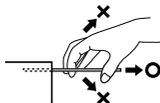


- ディスクを挿入すると、フロントパネルは自動的に設定されている角度に戻ります。
- フロントパネルを開いたまま走行しないでください。フロントパネルを開いたまま走行すると、衝突時にけがをする原因となります。安全のためフロントパネルを閉じてください。

ディスクを取り出す



- ディスクが排出された後、ディスクを取り出さないと、約 15 秒後に自動的に引き込まれます。
- 本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。



- 1 【△】（オープンキー）を押す
- 2 [DISC] をタッチする



フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

- 3 ディスクを取り出す

ディスクを取り出せないときは

- 1 【△】（オープンキー）を押し続ける
- 2 [はい] をタッチする
フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。
- 3 ディスクを取り出す

画面の見かたと操作

音楽 CD またはオーディオファイルディスクを再生します。

ここまでの手順 ▶

ソースを DISC に切り替える (→ P.78)

オーディオファイルディスク画面例



- ① ディスクの種類
- ② 音楽 CD :
 - ♪ トラック番号
 - オーディオファイルディスク :
 - ♪ 曲名 (ファイル名)
 - アルバム名 (フォルダ名)
 - 👤 アーティスト名
 - アルバムアート画像
- ③ 再生時間
- ④ ファイル形式(オーディオファイルディスクのみ)
- ⑤ シークバー
- ⑥ ランダム再生モード
- ⑦ リピート再生モード
- ⑧ 再生状態
- ⑨ 再生残り時間
- ⑩ トラック番号 / 全曲数 (ファイル番号)

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(→ P.79)
[Pスリーブ]	チェックを付けるとパッセンジャースリーブ機能がオンになります。(→ P.79)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[▶/]	再生または一時停止 (ポーズ) します。
[◀◀] / [▶▶]	前または次の曲を再生します (スキップ)。タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
[録音] (音楽 CD のみ)	現在の音楽 CD を内蔵メモリまたはSDカードに録音します。(→ P.87) [録音停止] をタッチすると、録音を停止します。
[📁] / [📁+]	前または次のフォルダの先頭ファイルから再生します。
[リスト]	再生中の曲またはファイルの再生リストを表示します。 ・ [トップ] (オーディオファイルディスクのみ) : 一番上の階層のフォルダに移動します。 ・ [一つ上] (オーディオファイルディスクのみ) : 1つ上の階層のフォルダに移動します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

「表示」をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の「閉じる」でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
【タイトル検索】 (音楽 CD のみ)	Gracenote 音楽認識サービスで使します。(→ P.93)
【録音設定】 (音楽 CD のみ)	本機の内蔵メモリまたは SD カードに録音するときの設定をします。(→ P.88)
【X】	<p>タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • X OFF : ランダム再生モードを解除します。 • X ALL (音楽 CD のみ) : アルバム内の曲をランダム再生します。 • X フォルダ (オーディオファイルディスクのみ) : 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をランダム再生します。
【R】	<p>タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • R ALL : すべての曲をくり返し再生します。 • R 1 : 再生中の曲をくり返し再生します。 • R フォルダ (オーディオファイルディスクのみ) : 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をくり返し再生します。
【閉じる】	サブ機能ボタンを消します。



- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されませんが、スクロールはできません。
- 本機では、音楽 CD を再生しながら、本機の内蔵メモリまたは SD カードに最大約 4 倍速で録音することができます。(→ P.87)

DVDを再生する

画面の見かたと操作 (DVDビデオ / DVD-VR)

DVDを再生します。
ディスクの出し入れについては、97ページをご覧ください。

ここまでの手順 ▶

ソースをDISCに切り替える(→ P.78)

DVDビデオを再生する

DVDの再生画面は、画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。サブ機能ボタンの[閉じる]をタッチしてサブ機能ボタンを閉じると以下の画面になります。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の[非表示]でも消すことができます。

- ① ディスクの種類
- ② 再生時間
- ③ 音声形式
- ④ シークバー
- ⑤ リピート再生モード
- ⑥ 再生状態
- ⑦ 再生残り時間
- ⑧ タイトル番号 / チャプター番号

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(→ P.79)
[Pスリーブ]	チェックを付けるとパッセンジャースリーブ機能がオンになります。(→ P.79)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.79)
< ◀ ▶ >	カーソルを表示します。(→ P.103)
[▶/⏸]	再生または一時停止(ポーズ)します。
[■]	再生を停止します。 [▶/⏸]をタッチすると、停止した位置から再生を再開します。停止中に[■]をタッチするとディスクの先頭に戻り、[▶/⏸]をタッチすると先頭から再生します。
[◀◀] / [▶▶]	前または次のチャプターを再生します(スキップ)。 タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。
[トップメニュー]	ディスクのトップメニューを表示します。
[メニュー]	ディスクのメニューを表示します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。操作ボタンが表示されているときは[表示]をタッチします。



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の[閉じる]でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[DVD 設定]	DVD の設定画面を表示します。 (→ P.104) このボタンをタッチすると、再生中のビデオは停止します。
[音声切替]	音声を切り替えます。
[字幕切替]	字幕を切り替えます。
[アングル]	アングルを切り替えます。
[↺]	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> • ALL: ; すべてのチャプターをくり返し再生します。 • チャプター: 再生中のチャプターをくり返し再生します。 • タイトル: 再生中のタイトルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

DVD-VR を再生する

DVD-VR の再生画面は、画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。サブ機能ボタンの[閉じる]をタッチしてサブ機能ボタンを閉じると以下の画面になります。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の [非表示] でも消すことができます。

- ① ディスクの種類
- ② 再生時間
- ③ 音声形式
- ④ シークバー
- ⑤ リピート再生モード
- ⑥ 再生状態
- ⑦ 再生残り時間
- ⑧ プログラム番号またはプレイリスト番号 / チャプター番号
- ⑨ 再生リスト

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。 (→ P.79)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(→ P.79)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.79)
[▶/⏸]	再生または一時停止(ポーズ)します。
[■]	再生を停止します。 [▶/⏸] をタッチすると、停止した位置から再生を再開します。停止中に [■] をタッチするとディスクの先頭に戻り、[▶/⏸] をタッチすると先頭から再生します。
[プログラムリスト]	プログラムリストを表示します。
[プレイリスト]	プレイリストを表示します。
[◀◀] / [▶▶]	前または次のチャプターを再生します(スキップ)。タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。操作ボタンが表示されているときは「表示」をタッチします。



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の「閉じる」でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[DVD 設定]	DVDの設定をします。 (→ P.104)
[音声切替]	音声を切り替えます。
[字幕切替]	字幕の表示 / 非表示を切り替えます。
[]	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none">● ALL : すべてのチャプターをくり返し再生します。● チャプター : 再生中のチャプターをくり返し再生します。● プログラム : 再生中のプログラムをくり返し再生します。● プレイリスト : 再生中のプレイリストをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

DVD ディスクメニューを操作する

DVD ビデオに収録されているメニュー（ディスクメニュー）を操作します。

カーソルで操作する

- 1 ディスクメニュー表示中に画面をタッチする
- 2 「表示」をタッチする



- 3 をタッチする



- 4 各ボタンをタッチして操作する

[非表示] :

操作ボタンを消します。

/ / / :

タッチした方向にメニューのカーソルを移動します。

[リターン] :

ディスクメニューの 1 階層上の項目を表示します。

[決定] :

選択中の項目を実行します。



- 表示されるディスクメニューおよび操作できる項目は、DVD によって異なります。

ディスクメニューを直接操作する

ディスクメニューを表示しているときは、ディスクメニューの項目を直接タッチして操作できます。



DVD の設定をする

DVD に関する設定を行います。
操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

1 サブ機能ボタンの [DVD 設定] をタッチする



2 各項目を設定する

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
メニュー言語	DVD ビデオのメニュー/トップメニューの表示優先言語を設定します。
音声言語	DVD ビデオの音声出力の優先言語を設定します。
字幕言語	DVD ビデオの字幕表示の優先言語を設定します。
ダイナミックレンジコントロール	DVD 音声のダイナミックレンジを設定します。 ワイド>ノーマル>ダイアログの順にダイナミックレンジは狭くなりますが、映画のセリフなどは明確に聞き取れるようになります。



- 設定した優先言語が再生する DVD に収録されていない場合は、収録されている言語になります。
- ディスクによっては、設定した優先言語に変わらない場合があります。

地デジを視聴する

画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを地デジに切り替える (→ P.78)

地デジ画面は、画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。サブ機能ボタンの[閉じる]をタッチしてサブ機能ボタンを閉じると以下の画面になります。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の[非表示]でも消すことができます。

- ① チャンネル番号
- ② プリセットモード
- ③ サービスのロゴ
- ④ プリセット番号
- ⑤ 放送時間、番組名
- ⑥ 受信モード
- ⑦ 音声の種類
複数の音声 / 二重音声があるときに出力している音声の番号が表示されます。
- ⑧ 字幕の種類
字幕を選択しているときに表示されます。
- ⑨ 映像の種類
複数の映像があるときに視聴中の映像の番号が表示されます。
- ⑩ 電波の強さ
- ⑪ 受信している放送局名またはサービス名

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[クリアボイス]	チェックを付けると音声聞き取りやすくなります。
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(→ P.79)
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(→ P.79)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.79)
[1] ~ [12] (プリセットチャンネルボタン)	プリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替わります。
[<<<] / [>>>]	前または次のプリセット局を選局します。
[プリセット一覧]	プリセット一覧を表示します。タッチするとプリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびにサービスが切り替わります。
[番組表]	番組表を表示します。(→ P.107)
[プリセット切替]	プリセットモード(エリア/ホーム/お出かけ)が切り替わります。「エリア」は現在地周辺の地域のチャンネルが自動でプリセットされます。「ホーム」または「お出かけ」を初めてご使用になる場合は初期スクリーンを行ってください。(→ P.107)
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

【表示】をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
【受信モード切替】	受信モードを切り替えます。 自動： 自動受信モード（12Segまたは12Seg）に切り替えます。 固定 12Seg： 12セグ固定モードに切り替えます。 固定 1Seg： ワンセグ固定モードに切り替えます。
【音声切替】	視聴番組に複数の音声 / 二重音声があるときに、音声を切り替えます。なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
【字幕切替】	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。 なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されていない場合があります。
【映像切替】	視聴番組に複数の映像があるときに、映像を切り替えます。
【地デジ設定】	地デジ設定画面を表示します。 (→ P.109)
【閉じる】	サブ機能ボタンを消します。



- 12セグとワンセグの切り替え時に、放送によっては音量が変わったり、映像 / 音声のつながりが途切れる場合があります。
- 放送局によっては、12セグとワンセグで番組が異なる場合があります。
- 本機は5.1chサラウンドには対応しておりません。音声は2chで出力されます。

プリセットモードを切り替える

プリセットには、「エリア」、「ホーム」、「お出かけ」の3つのモードがあります。

■ エリア

エリアでは自車の移動先の地域のものに自動的に切り替わります。移動中に放送局を手早く選択するときに便利です。

■ ホーム / お出かけ

ホームとお出かけは、それぞれにプリセットが登録できます。自宅周辺ではホーム、ドライブ先ではお出かけと使い分けると便利です。

1 【プリセット切替】をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。



タッチするたびに、エリア→ホーム→お出かけ→エリアの順に切り替わります。

放送局を登録（プリセット）する

初めてご使用になる場合は、ホームまたはお出かけには放送局が登録されていないため、初期スキャンを行ってください。

放送局をスキャンして、ホームまたはお出かけモードのプリセットボタンに放送局を登録します。

1 【プリセット切替】をタッチして、「ホーム」または「お出かけ」に切り替える

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。



2 【プリセット一覧】をタッチする

3 【初期スキャン】をタッチする



4 現在地の都道府県をタッチする

5 【はい】をタッチする

受信できる放送局を検索し、登録されます。



- [再スキャン] は初期スキャンを行った後で、新たに受信できる放送局を空いているプリセットボタンに登録します。
- 再スキャンを行っても、すでにプリセットされている内容はそのまま残ります。
- プリセットした後に初期スキャンをするとプリセットされていた内容はすべて消去され新たにプリセットします。

番組表を見る

最大 8 日分の番組表を表示できます。また、表示した番組表から放送局を選局することもできます。

1 【番組表】をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。



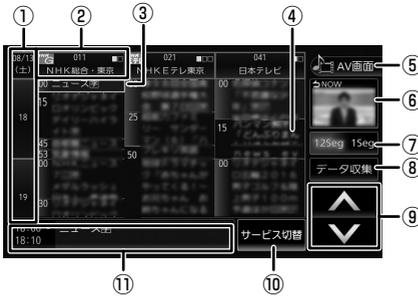
番組表が表示されます。



- すでに放送時間がすぎた番組の番組表は表示できません。
- 番組表データは、電源をオフにしてオンにすると消去されます。
- 受信したチャンネルは番組表データを自動で収集し表示します。受信していないチャンネルの番組表を表示したいときは「データ収集」をタッチしてデータを取得してください。
- ワンセグ番組表では、最大 10 番組まで表示されます。
- 受信していないサービスの箇所は空欄になります。受信すると表示されます。
- サービスの選局直後は、番組表から選局できない場合があります。

番組表の見かたと操作

番組表はフリックまたはドラッグすることで、上下左右にスクロールできます。

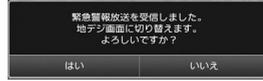


- ① **日時：**
タッチすると、表示する番組表の日付を選択できます。
- ② **放送局：**
タッチするとその放送局を受信します。
- ③ **フォーカス：**
緑色の枠で表示されます。
- ④ **現在視聴中の番組：**
背景が青色で表示されます。
- ⑤ **[AV 画面]：**
番組表を消して、AV 画面に戻ります。
- ⑥ **視聴中番組：**
タッチすると現在視聴している番組にフォーカスを移動します。
- ⑦ **[12Seg] / [1Seg]：**
タッチすると 12 セグ番組表とワンセグ番組表を切り替えます。
- ⑧ **[データ収集]：**
プリセットされている放送局の現在時刻から 24 時間先までの番組表データを収集します。
- ⑨ **[^] / [v]：**
フォーカスを移動します。
- ⑩ **[サービス切替]：**
マルチ編成番組 (1 つのチャンネルで 2 番組を同時に放送すること) の場合はタッチすると番組表内の番組情報を別サービスに切り替えます。
- ⑪ **番組詳細：**
フォーカスされている番組の情報を表示します。タッチすると、番組の詳細情報が表示されます。

緊急警報放送を表示する

緊急警報放送を受信すると、自動的に緊急警報放送に切り替わります。

地図画面などが表示されているときに緊急警報放送を受信すると、メッセージが表示されます。



[はい]：
緊急警報放送に切り替わります。



- 緊急警報放送は、AV ソースが地デジのときのみ表示されます。

中継局 / 系列局をサーチする

受信レベルが低下して番組を視聴できなくなったとき、自動的に受信可能な中継局 / 系列局を探して切り替えることができます (中継局サーチ)。

中継局 / 系列局の自動切り替え条件は、「地デジ設定」の [中継局 / 系列局サーチ] で設定できます。[中継局 / 系列局サーチ] を「自動切替 (中継局)」に設定している場合は、中継局のみがサーチされます。



- 系列局に切り替わった場合、元のサービスと番組が異なる場合があります。
- 受信条件によっては、サーチに数分以上かかる場合があります。
- 系列局のない放送局の場合は、中継局のみがサーチされます。

地デジの設定をする

地デジの設定を変更します。
操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

1 [表示] をタッチする



2 [地デジ設定] をタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
1Seg/12Seg 自動切替設定	推奨*/ 12Segを優先/ 切替頻度を低減	受信モードを[自動]に設定している場合に、優先させる切替条件を設定します。
中継局/系列局サーチ	自動切替しない/自動切替(中継局)/自動切替(中継局+系列局)*	中継局サーチ時の切り替え方法を設定します。
文字スーパー	表示しない/ 第一言語*/ 第二言語/	表示する文字スーパーを設定します。
デバイスID	受信識別情報が表示されます。この情報は、受信不具合時のお問い合わせ時に必要になることがあります。	
番組表文字サイズ	小/中*/大	番組表の文字のサイズを選ぶことができます。

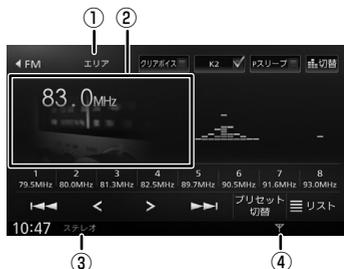
*: お買い上げ時の設定です。

AMまたはFMを聴く

画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースをAMまたはFMに切り替える(→ P.78)



- 1 プリセットモード
- 2 プリセット番号/周波数/受信中の放送局名
- 3 ステレオ受信表示
- 4 電波の強さ

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[クリアボイス]	チェックを付けると音声聞き取りやすくなります。
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(→ P.79)
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッセージスリープ機能がオンになります。(→ P.79)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[1] ~ [8] (プリセットボタン)	プリセットされている放送局を受信します。
[<] / [>]	放送局を選択します。タッチするたびに、1ステップずつ周波数を変えて選局します(マニュアル選局)。タッチし続けると、タッチしている間、周波数が連続して変わります。
[<<] / [>>]	プリセット局を番号順に受信します。「サーチ中…」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します(オート選局)。

ボタン	説明
[プリセット切替]	プリセットモード（エリア / お気に入り 1 / お気に入り 2）を切り替えます。（→ P.110）
[リスト]	プリセットモードが「エリア」のときに、登録データから取得した放送局をリストで表示します。（→ P.110）

プリセットモードを切り替える

放送局のプリセットモードには、「エリアモード」と「お気に入りモード」があります。

■ エリアモード

本機の登録データに基づいて、現在地周辺の放送局が表示されます。

エリアモードのプリセットボタンには、そのエリアで受信可能な放送局（コミュニティ FM 局を除く）が周波数の低い順に最大 8 局まで自動的に登録されます。

エリアモードで選択できる放送局は、[リスト] をタッチすると表示できます。（→ P.110）

■ お気に入りモード

手動でお好みの放送局をお気に入り 1 またはお気に入り 2 にそれぞれ 8 局まで登録できます。（→ P.110）

1 [プリセット切替] をタッチする



タッチするたびに、エリア→お気に入り 1 → お気に入り 2 → エリアの順で切り替わります。

エリアモードの放送局をリストから選局する

エリアモード時のプリセット放送局リストから、受信する放送局を選択します。

1 [プリセット切替] をタッチして、エリアモードに切り替える

2 [リスト] をタッチする



3 受信する放送局をタッチする

1 ~ 8 : プリセットボタンにプリセットされている放送局

FM : コミュニティ FM 局



・「コミュニティ FM 局」とは、市町村や政令指定都市の行政区内の一部地域を放送対象とする放送の形態です。

放送局を登録（プリセット）する

お気に入りモードのプリセットボタンに手動で放送局を登録（プリセット）します。

1 登録する放送局を受信する

マニュアル選局またはオート選局などで、登録する放送局を受信します。（→ P.109）

2 [プリセット切替] をタッチして、「お気に入り 1」または「お気に入り 2」に切り替える



3 登録先のプリセットボタン（[1] ~ [8]）を 2 秒以上タッチし続ける

受信中の放送局がプリセットボタンに登録されます。

登録した放送局は、お気に入りモード（1 または 2）で該当するプリセットボタンをタッチすると受信できます。

交通情報を受信する

交通情報（1620kHzまたは1629kHz）を受信します。交通情報に切り替えると、受信状態が良いほうが自動的に受信されます。

画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを交通情報に切り替える（→ P.78）



- ① 周波数
- ② 電波の強さ

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[クリアボイス]	チェックを付けると音声が聞き取りやすくなります。
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。（→ P.79）
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。（→ P.79）
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[1620kHz] / [1629kHz]	受信周波数を1620kHzまたは1629kHzに手で切り替えます。



- 交通情報の音量は、他のソースから独立して調整できます。

HDMI 出力機器を接続する

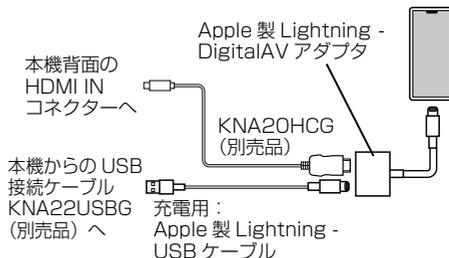
接続のしかた

本機に HDMI 出力機器を接続します。HDMI 機器の接続には、HDMI 接続ケーブル KNA20HCG（別売品）が必要です。上記以外の HDMI 接続ケーブルでは接続できません。



■ iPod/iPhone の場合

iPod/iPhone の場合は以下のように接続してください。



- iPod/iPhone を Lightning - Digital AV アダプタを使用して HDMI 接続ケーブル接続しているときは、iPod ソースでは音声が出力されません。上記の接続状態のまま音声を聞きたい場合は、iPod/iPhone を Bluetooth 接続の上、Bluetooth Audio ソースに切り替えてください。iPod ソースで再生音を聞きたい場合は、Lightning - Digital AV アダプタを外して接続しなおしてください。（→ P.81）
- Lightning - Digital AV アダプタおよび Lightning - USB ケーブルは車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因となります。

画面の見かたと操作

本機に接続した HDMI 機器の映像を視聴します。

ここまでの手順 

ソースを HDMI に切り替える (→ P.78)

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2テクノロジー機能がオンになります。(→ P.79)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(→ P.79)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.79)

MEMO

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・
ビジュアル

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン
連携

オプション

付録